令和7年度第1回 青森地方労働審議会議事要旨

審議開始日

令和7年9月5日

議決日

令和7年9月19日

(書面審議による)

議題

「青森県五所川原公共職業安定所地域雇用開発計画」及び「青森県黒石公共職業安定所地域雇用開発計画」について

議事概要

第1回青森地方労働審議会は、書面審議により開催され、「青森県五所川原公共職業安定所地域雇用開発計画」及び「青森県黒石公共職業安定所地域雇用開発計画」については、全会一致で妥当と認める。

なお、4名の委員から、次の意見が出されたので付記する。

付記

- ◎ 両市の計画は、形式や内容がほぼ同一で、地域特性が十分に反映されていない。テンプレート的な記述ではなく、地域に即した具体性が必要。審議の在り方についても制度疲労が見られる。フォーマットと審議の仕組みを見直し、より創造的な制度運用が求められる。五所川原市は建設・小売業、黒石市は製造業が中心であり、影響を受ける政策も異なる。特に産業の比率の違いは計画に反映すべき。若者はAIやSNSを使いこなす一方、大人社会のITリテラシーの低さに失望している。若者の地元離れの背景には、こうした世代間のギャップがある。AI生成文書は一見もっともらしいが、実質的な内容に乏しいため、形式的に見える分野でも、専門家の判断力が不可欠。真に専門性を発揮し、AIを使いこなす行政職員の存在が、青森の雇用・産業を救う鍵であると考ええる。

- ◎ 両地域とも事業主都合の離職が増加しているのが気になる。産業構造の変化によるもの、人材のミスマッチ、廃業など複数の要因があると考えられ

るが、地域の人材が地域で就業できるよう公共職業安定所の果たす役割に期待する。

- ◎ 本計画は新型コロナ禍の影響からの回復に資するものであって欲しい。
- ◎ 両地域とも、就業場所の確保が大事であり、その意味では多方面にわたり計画されている。両地域の特性を活かしながら就労の機会が増えていくことを期待する。